



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO, SUNRISE

T O S Y ' S

東京サンライズ・ワイズメンズクラブ

設立 1989年2月18日
チャーター認証日 1989年5月 2日
チャーターナイト 1989年5月28日

TOKYO YMCA YAMATE CENTRE
2-18-12,NISIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO
PHONE 03-3202-0321

第一例会：第2木曜日 午後5：00
(但し、12月・4月は山中湖センターで土日)
第二例会：翌々週火曜日 午後5：00

2025年4月号ブリテン 第410号

2024-2025年度主題(Thema) IBC：台北ユニオン DBC：東広島・京都プリンス

会長	御園生 好子
副会長	小山久恵
書記	大森裕子
会計	大谷博愛
直前会長	長津徹
担当主事	鳩山 徹郎

Our Motto	国際標語	「共により良い世界を」
国際会長	シャナヴァスカーン	「立ち上がろうそして輝こう」 (インド)
アジア太平洋会長	ジョウン・ウォン	「大きなインパクトを起こそう」 (台湾)
東日本区理事	山田公平	「ワイズの方向性を見極める」 (宇都宮)
あずさ部部長	ピーター・マウントフォード	「めあて望み」 (甲府)
サンライズ会長	御園生好子	「原点を見つめさらなる発展を」

4月第一例会のお知らせ

とき 4月10日(木) 17:00～
ところ 東京YMCA山手センター
かいひ 500円

◆プログラム

開会点鐘 会長
ワイズソング・ワイズの信条 一同
卓話『ウクライナの現状』

卓話者 YMCA同盟 横山ゆりあさん

協議・報告・連絡事項 会長・各担当者

にこにこ・一分間スピーチ 出席者全員

閉会点鐘 会長

4月以降の予告

4月19日 東広島30周年

4月24日 山中湖センターお花見

4月のハッピーバースデー

該当者なし

3月例会出席者

7名

(出席率46%)

次期会長・部役員研修会

小山久恵

3月8日(土)1時から東山荘で行われました。開会式、プログラム1では、次期理事、主任、メネット委員長の事

業方針が発表されました。プログラムII、プログラムIIIでは、グループディスカッションとその報告でこの日の研修は終わり、夕食懇談会となりました。翌9日もグループディスカッションに時間をかけ、事務所、国際アジア太平洋地域の状況、YMCA報告で終わりました。最後に閉会式で締めくくりました。出席者の顔ぶれが変わっていて、世代交代の時期だなあと感じました。

3月第一例会報告

御園生 好子

3月13日(木曜日) 17時～ YMCA山手センターに於いて

卓話 「元UNHCR職員が今考えていること」

卓話者 浅羽俊一郎メン(埼玉クラブ)

今回は難民問題についてのお話を伺いました。国連難民高等弁務官という緒方貞子さんを思い浮かべますが緒方貞子さんの下でご勤務なさっておいででした。

浅羽メンがなぜ国連に勤務されたか？(これは長くなるので割愛させていただきます。)

全寮制の高校時代の話から始まりスライド等を駆使しての世界各国での勤務。

公平、中立、独立、人道を軸に活動していたとのこと。

何十万、何百万という難民の人々がコミュニケーションを作って生活をしている実態(難民キャンプ等)

卓話後もニコニコのテイスティングタイムではワインを飲みながら談笑が続き、今後の浅羽メンのしたい事、思っている事等、定刻をオーバーするほどでした。

出席者

今村由紀 大谷博愛 大森裕子 小山久恵 菰渕満彦
長津徹 御園生好子

ゲスト 大輪正史 佐藤茂美



を摂るのですが、北口に蕎麦屋が無いので「天井てんや」で天ぷら蕎麦を頂きました。ここの蕎麦は値段の割には美味しいですよ。

12時45分までに防災館で受付を済ませる為、バスにて移動。防災館では防災体験ツアーの自助共助コース（所要時間：1時間45分）①シアター、②消火、③応急手当、④煙、⑤地震の項目を体験しました。

シアターは、地震による家屋倒壊、津波、火災等の災害の恐ろしさを映像で。消火は、消火器の使い方。応急手当は、人工呼吸とAEDを使用した救助の方法。煙は、煙の充満した部屋と真っ暗な部屋からの脱出方法。地震は、震度7の揺れを体感。それぞれの項目を実演体験しました。事に、震度7の揺れは凄まじく、うつ伏せになった体がひっくり返りそうでした。皆様も機会があれば是非体験してみてください。



公さんを偲んで

小山久恵

かねて療養中だった柴田公さんが、2月3日に天に召されました。一時サンライズクラブに在籍して山中湖センターでのワークをしたり、お散歩会にいらっしゃったり、色々な活動をご一緒しました。お酒好きで、秋田のお酒が特にご最中で、サンライズの中の飲兵衛が一時期日本酒にはまっていました。公さんと言えばひよこのつぶやき。なにげない題材を思わずクスリと笑わせる文章は絶妙でした。ひよこのつぶやきならぬ公のつぶやきにしようという話が出たほどでした。帰りの電車の中では、楽しかったねと何回も言っていたらっしゃっていました。そんな公さんの笑顔を思い出します。

お散歩例会に参加

参遊會 正村満

3月25日、お散歩例会に参加させて頂きました。今回は、本所防災館と隅田川の桜です。

11時30分、錦糸町北口に集合。いつもは蕎麦屋で昼食

防災館を出て、隅田川に向かう大横川親水公園へ。東京の開花宣言があった日なのですが、残念ながら桜はまだ一輪も咲いていませんでした。公園で暫く一休み。隅田川の桜も咲いていないと思うので、4時ごろ本所吾妻橋にある中華料理店「聚友楼」へ。まだ店が開いてなく近くの「ゆで太郎」で煮込みとビールやハイボールで時間を潰し、5時に中華料理店へ、飲んで食べて一人2,000円というコスパ最高の店で、楽しい一日を過ごしました。次回のお散歩例会にもお誘いください。

2013-14年 東日本区理事としての活動―「いざ立て」を主題に掲げて

十勝クラブ 渡辺喜代美
おぼえていますか？2013年6月、東日本大震災の復興支援として岩手県花巻市を会場に開催された東日本区大会。この会場で駒田勝彦ワイズ（甲府21）から私は、第17代東日本区理事として理事バッチを拝受し、「いざ立て」を主題に掲げて活動をスタートしました。十勝クラブから初めての理事でしたので、力強いサポーターとして山田敏明ワイズが書記としてあわただしく活動する中、いつも大人の対応で支えてくださっていたのが、東京サンライズクラブの小山憲彦ワイズでした。事務全般を久保田貞視ワイズ（東京八王子）、宮内友弥ワイズ（武蔵野多摩）、小山憲彦ワイズ、事務局三人体制での共同作業は非常に心強く、私の活動を前進させる大きな原動力となりました。

出会いと学び

この年は、現在東京サンライズクラブの会長をされている御園生好子ワイズ、次期会長の小山久恵ワイズとの出会いもありました。いつも会議が終わると、「これからホテルに帰って一人は寂しいでしょう」と御園生ワイズが声をかけてくださり、ビール好きの小山ワイズがおいしい居酒屋で慰労会をセットしてくれました。その温かい心遣いに感謝しています。例会にも何度かお誘いいただき、ワイズメンズクラブの楽しさを教えていただき、多くのことを学ばせていただきました。

小山憲彦ワイズへの感謝

2024年1月に若くして亡くなった小山憲彦ワイズに対して、心から感謝の意を表します。私の理事としての活動をいつもさりげなく支えてくださいました。天国で大好きなビールを飲みながら、これからの東日本区は？クラブは？などなど、ワイズの大先輩たちとあれこれ協議されているのでは…と思う今日この頃です。本当にお世話になりました。紙面をもってお礼申し上げます。

今後の活動

現在、ワイズメンズクラブの会員数が激減している現状を踏まえ、これからの活動は一人ひとりの出会いを大切に、地道に続けていくことが大切だと考えています。YMCAを通して若者たちとの交流から学び、次世代につながる活動をそれぞれの地域で続けることが新たなワイズ活動に繋がっていくと思います。

東京サンライズクラブの例会に何度かお邪魔させていただき、楽しい思い出をたくさん作ってくださった皆様に感謝しています。これからも東京サンライズクラブの会員皆様のご活躍を北海道帯広から応援しています。

山中湖センターの様子

山中湖センター 荒木 暁

3月に入り鳥たちが囀り始め、陽の暖かさを感じるようになりました。しかし、朝を迎えると降雪にてまた白銀の世界が広がるという不思議な季節を迎えた山中湖センターです。少しずつ季節の変化があるのでしょうか。少なからず温暖化の影響もあるのかと考えてしまいます。さて、3月20日よりお客さんが入り山中湖センターはオープン再開をいたしました。

2025年最初のお客さんは真っ白な雪の世界で過ごしていました。少しずつお客さんが入り、また賑やかな雰囲気を感じられると思うと胸が躍ります。

2025年も全ての人が山中湖センターに来て良かった。と思えるように心込めて対応させていただきます。

皆様のお越しをお待ちしております。

YMCA ニュース

山手センター 嶋山徹郎

★外国にルーツのある子どもたちを支援しよう★

外国にルーツのある子どもたちを支援する東京YMCAの取り組みが2月27日の朝日新聞デジタル版、及び3月19日の朝日新聞朝刊紙面で紹介されました。なお、外国にルーツのある子どもたちの支援活動（山中湖サマーキャンプ、にほんごサポートプログラム等）のためのクラウドファンディングは、250万円を目標に4月18日まで実施しています。

★多文化共生スペース▽移転（南センター閉館）のお知らせ★

機関紙の1・2月号でお知らせしましたように、2025年3月末をもって、南センターが閉館となります。南センターは、1980年に開設されて以来45年にわたって地域の時代の変化に合わせてながらその働きを継続してきました。2023年からは居場所事業としてプログラムを展開し、2024年度からは「多文化共生スペース▽（さんかく）」として取り組みをスタートしましたが、よりニーズの高

い地域での展開も視野に入れて、仮事務所へ移転することになりました。今後につきましては、決まり次第お知らせいたしますが、当面は東陽町センター内に仮事務所を置き活動いたします。

★チャリティーイベント「なにわシーサー's」による「漫才&トークショー」4/19開催★

来る4月19日(土)に東京YMCAチャリティーイベント「なにわシーサー's」による「漫才&トークショー」を開催いたします。昨年末に、沖縄琉球のジェイ(川平慈英さん)と大阪なにわのつよっさん(伊原剛志さん)が「なにわシーサー's」を結成。漫才師として活動されています。このたびは、東京YMCA山手コミュニティーセンターにて、お二人の息のあった漫才に加え、トークもしていただくことになりました。今回は、外国ルーツの子どもたちへのチャリティーとしての開催です。

東京YMCA チャリティーイベント
なにわシーサー's
漫才&トークショー

美しい時間を共有しながら、支援の輪を広げましょう!

開催日: 2025年4月19日(土)
会場: 東京YMCA山手センター
時間: 14:30開場 15:00開始
定員: 80名(先着順) ※申込は6席Q&Aコードから
※3/25受付開始(定員になり次第締め)

参加費: お一人1,000円(チャリティーとしてお受けします。)
※東京YMCAが行う外国ルーツの子どもたちへの支援活動に用います。

第1部 漫才&トークショー
【出演】なにわシーサー's
『沖縄琉球のジェイ(川平慈英)』
『大阪なにわのつよっさん(伊原剛志)』

第2部 外国ルーツの子どもたちの支援活動について
東京YMCAでは外国ルーツの子どもたちへの支援活動を開始しています。
第2部では、決断した子どもたちの様子も、写真などを交えてお話しします。報告チラシやファンディングも実施中(4月18日まで)

主催: 公益財団法人東京YMCA
協力: 公益財団法人日本児童福祉少年連合会
後援: 東京YMCA会館、〒100-0001 東京都千代田区千代田 3-1-1 日本橋三本町 4階
Tel: 03-5781-9071 E-mail: main@yompa.or.jp

★【ミャンマー地震】緊急支援募金 ご協力のお願い★

2025年3月28日に発生した地震によりミャンマー国内各地において甚大な被害が発生しています。すでに初期段階において、死者1,000人以上、負傷者2,200人以上、行方不明者200人以上という数字が伝えられています(UNOCHA4/1時点)、地震発生以前から人道的危機状況にあったこともあり、被害状況はさらに広がるのが懸念されています。

ミャンマーYMCAではミャンマー・スカウト協会と協力し、被災者の方々への緊急支援活動を開始。現地ミャンマーYMCAからの緊急支援要請に応えるため、日本のYMCAでは緊急支援募金を実施します。募金は、アジア太平洋YMCA同盟等を通じて、マンダレー、ネピドー等、

ミャンマーYMCAが行う支援活動のために用いられます。皆様のご協力をお願いします。

東京YMCA YMCA

ミャンマー地震 緊急支援募金

2025年3月28日に発生した地震によりミャンマー国内各地において甚大な被害が発生しています。すでに初期段階において、死者1,000人以上、負傷者2,200人以上、行方不明者200人以上という数字が伝えられています(UNOCHA4/1時点)、地震発生以前から人道的危機状況にあったこともあり、被害状況はさらに広がるのが懸念されています。

ミャンマーYMCAではミャンマー・スカウト協会と協力し、被災者の方々への緊急支援活動を開始。現地ミャンマーYMCAからの緊急支援要請に応えるため、日本のYMCAでは緊急支援募金を実施します。募金は、アジア太平洋YMCA同盟等を通じて、マンダレー、ネピドー等、ミャンマーYMCAが行う支援活動のために用いられます。皆様のご協力をお願いします。

募金額
〜2025.5.31まで

募金方法
東京YMCAの窓口へ直接お持ちいただくか、以下にお申し込み下さい。

- 銀行振込: 三井住友銀行 神奈川支店(口座334)
(支) 口座 7533600 ①(1)3147542161421
- 郵便振替: (お申し込み専用口座)
下記のQRコードを読み取り、お手続きください。
東京YMCAの窓口でもご案内しています。

VISION 2030

公益財団法人 東京YMCA 会館部 〒100-0001 東京都千代田区千代田3-1-1 日本橋三本町4階
Tel: 03-5781-9071 E-mail: main@yompa.or.jp

編集後記

ブリテン4月号をお届けします。ようやく桜が咲いたと思ったら、真冬並みの寒さに逆戻り+雨続きで、お花見を逃してしまった方も多いのではないのでしょうか。私は犬の散歩がてら、近所のお寺や神社の桜でプチお花見をしました。東北地方はこれからですので、時間があれば花を追いかけて足を伸ばすのもよいと思います。やはり春は桜が見たいですね。皆さまもそれぞれのお花見をお楽しみください。

